

広 報

こだま

2019

Vol.35

【栗田病院 広報誌】

第8回日本精神科医学会 学術大会に参加して

広報散歩

臨床心理課

栗田ダイアリー

行事・イベント紹介



有朋会・理念 ～私達の求める姿～

私たちの使命は、患者様、利用者様、ご家族様、地域連携機関、地域住民、有朋会職員と
いったあらゆる方々の「こころ」に、温かな（ホットな）灯りをともすこと、笑顔を増やし続ける
ことです。その使命を果たすことで、以下3つの姿を実現します。

1. 医療・介護・福祉を統合した高品質のサービスを設計・開発し提供し続けている。
2. スタッフみなが有朋会の一員であることに胸を張っており、患者様、利用者様、ご家族様に
質の高いサービスを提供している。
3. 働きたい・学びたいと希望する方が絶えることなく集まってくる。



医療法人社団 有朋会
栗田病院

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505
TEL: 029-298-0175 Mail: yuhokai@yuhokai-kuritah.com
<http://www.yuhokai-kuritah.com/>

第8回日本精神科医学会学術大会に参加して

令和元年7月4・5日に北海道札幌市で行われた日本精神科医学会主催の学術大会に当法人から6名のスタッフが参加しました。

毎年行われるこの学会には、当法人もスタッフの自己研鑽の場として積極的に参加を促しております。以下が参加職員の紹介と発表内容です。



表題…急性期病棟退院支援におけるプログラムの改定について

地域医療連携課 大垣晴香・荻原貴之

当院では、ステップアップフライデーというプログラムを実施しています。これは、「今までの生活を振り返り、退院後の生活について語り合う場として位置づけ、自身について語る事や他患者の話を聴き、思いを共有する事で、今後の生活への不安に気づき退院後の希望の実現を共に考えていくこと」を目的としています。本プログラムの参加率は、その必要性を感じていただかず、あまり高くないのが現状でした。今回、参加率向上を目的としてプログラムの改定を行い、その後の参加率の変化や再入院率に変化があるのかを調査し、今後の課題について見直していくことを目的とした研究発表をさせていただきました。

結果として、プログラムへの参加率↑増加。参加回数↑増加。再入院率↑増加。うちプログラムに参加

していない患者様としてX年は0人、X+1年は1人でした。

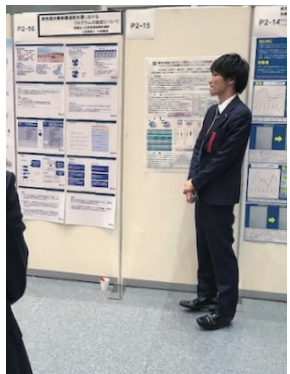
参加率、参加回数は増加傾向がみられ、プログラム内容の改定により、参加

の目的をつくる事が出来ました。その一方で再入院率はやや増加しており、再入院の理由として怠業をしたことや、症状・不安への対処が難しかった事が見受けられました。これは今後プログラム担当職員間で検討していく課題となりました。

表題…外来PSWの連携の評価と課題
地域医療連携課 井出蒼

外来勤務の精神保健福祉士（以下「外来PSW」）として業務をする中で、「患者様・利用者様やそのご家族様の理にかなった支援ができているのか」という点を振り返るにあたり、自身の職種の専門性のひとつである連携をテーマとして研究を行いました。地域における連携の評価尺度を改定したアンケートを院内他部署・他職種へ実施し、その結果から考察した現状と課題について発表してまいりました。

全体の結果ではおおむね外来PSWとの連携を必要と感じていても実際の業務では連携が十分ではないという結果となりました。仮説のとおり普段連携ができていない部署との連携については全体の結果よりもやや連携が取れている結果ではありましたが、改善の余地が感じられました。これまで定期的に連携を行っていない部署において、外来PSWとの連携の必要性を強く感じているが実際には連携ができていないと感じていることが明らかになるなど、仮説と異なる結果も得ることができました。また、病



今回の研究を通して、外部からDCに必要とされていることが分かり、それを踏まえた支援や共有方法を模索していきます。地域の機関とも協力しながら、利用者一人ひとりに合った支援内容を提供できるような施設を目指します。

表題…当院精神科デイケアにおける

精神保健福祉士の役割

外来リハビリテーション課 加藤咲

精神科デイケア（以下「DC」）は、多職種の業務が重なり合っている部分が多く、専門性の見えづらさが生じることが指摘されています。今回の研究ではDCに所属する多職種に精神保健福祉士（以下「PSW」）の業務に対する認識を調査し、DCにおけるPSWに求められる役割を明らかにすることを目的としました。

DCに所属するPSWを除いた職種を対象にアンケート調査とヒアリングを実施した結果、「主治医、他職種への働きかけ」や「入退院調整」の項目が特にDCPSW業務として必要との意見が多かった。一方でPSWに関する視点にかかわる意見は一切挙がりませんでした。

考察として他職種から見て入退院調整などは目に見えるPSWの業務として捉えることはできますがPSWの支援過程における視点や価値について知る機会というのは日々の業務ではないため視点に関する意見は挙がらなかったと考えます。

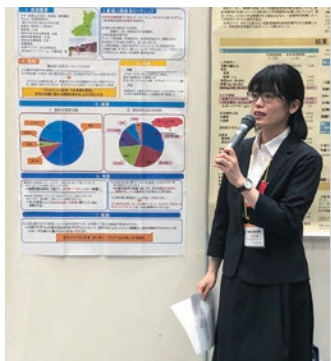
当院では勉強会や研修が活発に行われていますが、職種に関する内容のものの充実が今後の課題と言えます。互いの専門性を認識するために勉強会の開催など自らPSWの専門性について発信していく必要もあるのではないかと思います。

表題…新規入院患者ミーティングを通した

患者の体験―最終の感想に着目して―
臨床心理課 中谷南保

『新規入院患者ミーティング』は、当院の急性期治療病棟で行われる、入院4週目までの入院初期の患

者様が対象となっている治療プログラムです。今回、『新規入院患者ミーティング』に参加された患者様の最終参加時の感想に着目し、患者様がプログラムを通してどのような体験をされているのかについて発表させていただきました。



プログラムに参加された患者様の感想について分類をしたところ、肯定的な感想が大多数を占めておりました。肯定的な感想の中でも、「話が出来てよかった」といったミーティングで話ができた経験に関するものが多くを占めておりました。さらに、話ができたと経験の中でも「自分の話を聴いてもらえてよかった」というように、話を聴いてもらった体験を肯定的に捉えているものが見受けられました。これらのことから、『新規入院患者ミーティング』では、他の患者様や病院スタッフと話ができ、話を聴いてもらえるという体験が得られると考えられ、そのことが多くの患者様にとって肯定的な感情や思いに繋がっていると考えられます。今後、これらの結果をプログラム担当のスタッフと共有し、プログラムの質の向上の一助となるよう努めてまいります。

表題…顧客ヒアリングによる具体的なニーズの

抽出と顧客満足度モニタリング
経営企画課 杉山謙

徹底的な顧客ヒアリングを通して、顧客満足度に直結する患者様等視点での「うれしさ」を明らかにし、それらをマネジメントする取り組みについて発表させていただきました。

近年、よりシビアな経営が求められる精神科病院において、患者様等のニーズにお応えし当法人を選び続けていただくための具体的な経営戦略が必要と

棟特性での結果が異なることや職種ではなく部署により連携の必要性の感じ方に差が出るという結果は興味深い学びとなりました。今後部署内で得たデータを共有し、課題となった点については実際の業務の中で改善に取り組みたいと考えています。

表題…地域の支援者が精神科デイケアに求める支援について
作業療法課 寺久保佳那

当院精神科デイケア（以下「DC」）で働いていると、利用者を通して地域の相談支援事業所やグループホーム等の機関（以下「関係機関」）と関わる必要があります。そこで関係機関はDCに對し何を求めているのか疑問を抱き、関係機関へのアンケートを通して明確にしました。

DCの役割の重要度を評価していただく質問紙を作成し、関係機関13カ所に配布しました。重要度が高くなったものは「自宅以外の安心できる居場所」「再発予防」「関係機関との情報共有」でしたが、法人外の関係機関より「情報共有は実施できていない」という意見が多くみられました。この結果を通して、関係機関は治療面も含めたトータルなサポートと情報共有を求めていることが分かりました。続けて、情報共有の阻害要因を明確にするため、追加のアンケートをDC職員にのみ実施すると、職種に関わらず必要性は感じているものの、「連絡の主な手段が電話となっており、普段関わりも少ないことで心理的にやりづらく、手間に感じている」「業務化されていないことから後回しになっている」等が阻害要因であることが分かりました。



感じています。しかし、我々医療従事者の想像するニーズと、患者様等視点でのニーズには明らかにギャップが存在しています。そのため、当法人では患者様等に直接ヒアリングを行い、当法人のサービスを選んでいただいた理由を抽出・カテゴリー化し、患者様等視点での「うれしさ」をまとめる事で、両者のニーズのギャップを解消する取り組みを開始しました。抽出した患者様等視点の「うれしさ」、いわゆる当法人の「強み」をアンケート項目に落とし込み、年度部署目標にて継続的な管理・評価を行っています。今回の取り組みを通して、患者様等視点でのより具体的なニーズを再定義する事ができ、さらにアンケートを用いて患者様等の当法人のサービスに対する満足度が数値として可視化された事で、重点的に取り組むべき課題が明確となりました。今後必要とされるサービスを提供し選び続けていただける法人を目指していきます。

今回初めて本学術大会へ参加するスタッフもいましたが、みな堂々と発表を行う事ができました。多くの医療機関が集まり積極的なディスカッションが行われ、大きな刺激と知識を得る事ができました。

自身の発表だけでなく、他医療機関の取り組みを学べた事は、今後個人のスキルアップや法人の発展や必ず生きてくるものと思います。



広報散歩

『臨床心理課』

今回インタビューを行った臨床心理課は、カウンセリングや心理検査、集団心理療法や各種の心理教育等を通して患者様のこころの健康をサポートしています。そんな栗田病院の治療分野において重要な役割を担っている臨床心理課の皆さんに話を伺いました。

部署・スタッフの紹介

臨床心理課には、公認心理師や臨床心理士といった資格を持つ心理士4名が所属しており、外来通院や入院中の方を対象に、カウンセリングやさまざまな心理検査を行っています。それぞれが患者様と1対1でお会いし関わっていくことになりますので、責任を持って対応できるよう、日々自己研鑽に努めています。休日や勤務終了後の時間を使って、積極的に学会参加を行ったり、外部でおこなわれている研修に参加するなど、勉強熱心なスタッフが多いことも当該の特徴です。

臨床心理課のコンセプト・施設機能・役割

臨床心理課は、外来通院されている方や入院中の方を対象に、カウンセリングや心理検査を行ったり、病棟や外来で行われている集団プログラムに参加しています。

カウンセリングでは、様々な悩みや不安を抱える患者様のお話をうかがいながら一緒に考え、解決方法を探すお手伝いをさせていただいています。お話される内容は多岐に渡りますが、目の前にいる方が何を感じ、何を体験しているか、その方にとってどのような意味があるのか、想いをめぐらせながら耳を傾けることが重要だと考えています。お話の中で言葉として表れる想いもあれば、言葉に表現されな

い想いもあります。どちらにも目を向けて話をうかがっていくことが、悩みや不安の解決の一助になると考えています。

心理検査では、認知機能検査、人格検査、発達検査など、医師の指示のもとに一人ひとりの方に必要とされる心理検査を実施しています。より必要だと思われる心理検査がある場合には、医師と相談した上で、項目を追加することもあります。検査を受ける方は、どのようなことをするのか分からず、不安な気持ちを抱いていると思います。その不安な気持ちを和らげ、心理検査に取り組んでいただけるよう、心理士として関わるのが求められます。また、心理検査にはいくつもの種類があります。多様な心理検査を決められた手順で正しく実施し、正しく分析して得られた結果から正確な結果を導くことも、患者様のために必要な技術のひとつです。得られた結果は主治医、病棟スタッフ、または必要とされる各関係機関と共有し、患者様の治療に役立てていただいています。

集団プログラムでは、心理士だけではなく、医師、看護師、薬剤師、精神保健福祉士、作業療法士など、多職種のスタッフが関わっています。その中で、参加されている方の様子について、心理士としての視点で観察したり、言葉かけを行いながら、かわっていくことが大切なことだと思っています。参加しているスタッフにも、自身の見解を伝えたり、他のスタッフの視点を取り入れていくことで、より良い支援に繋がっていくものと考えています。



現在力を入れている取り組み

臨床心理課の業務は専門性を活かしたものが多く、特徴とも言えますが、同時に様々な視点で対象となる方を見ることが重要だと考えることもできます。例えば、カウンセリングの場面だけではなく、通院の際の様子、サービスを利用している際の様子などを知ることで、その方自身の様子が見えてきます。心理検査の場面だけではなく、家庭での様子や来院時の様子も重要な視点になります。対象となる方が幅広いこともあり、職種や配置を問わず、多くのスタッフとの連携が必須であるため、現在力を入れている取り組みといえます。

今後、新たな心理検査を導入したり、プログラム内で新たな役割を求められることもあるかもしれません。その場合にも、心理士としての視点を忘れず、柔軟に対応できることが大切になると思います。当該のスタッフの力量が求められますね。

今後の目標・展望は？

今後もこれまで以上に、心理士の専門性を活かして業務に臨むことで、患者様に寄り添ったかわりを続けていくことが目標です。心理士一人ひとりのスキルを向上させることももちろんですが、カウンセリングにいらした方、心理検査を受けに来た方、集団プログラムに参加される方、それぞれに適したかわりを、より丁寧に行っていきたくと考えています。

患者様の悩みや不安の解決の一助となるかわりを継続できるように、努めていきたいと思っています。



栗田ダイアリー

栗田病院が開催した行事やイベントを紹介します。

2019 4
4月1日(月) 入社式・新入職員オリエンテーション①
4月2日(火) 新入職員オリエンテーション②
4月13日(土) 求職者向け病院見学会
4月27日(土) 求職者向け病院見学会

2019 5
5月11日(土) 求職者向け病院見学会
5月13日(月) 藤の花見(病棟レク)
5月19日(日) 新入職員歓迎バーベキュー★
5月25日(土) 求職者向け病院見学会

2019 6
6月8日(土) 求職者向け病院見学会
6月15日(土) 認知症家族交流会
6月22日(土) 外来栄養セミナー「食生活のコツ」
求職者向け病院見学会
健康セミナー「シナプソロジー&栄養ミニ講座」

2019 7
7月13日(土) 求職者向け病院見学会
7月20日(土) 認知症家族交流会
7月26日(金) 栗田病院納涼祭★
7月27日(土) 求職者向け病院見学会

2019 8
8月10日(土) 求職者向け病院見学会
8月17日(土) 認知症家族交流会
8月24日(土) 外来栄養セミナー「食生活のコツ」



2019年7月26日(金) 栗田病院納涼祭

患者様や利用者様を中心に地域住民の方もお招きして納涼祭を開催しました。栗田病院納涼祭では、かき氷や焼きそばなどの出店を準備するだけでなく、盆踊りやボランティアによるよさこい踊りなどの企画もあり、夏を彩るひとときとなりました。締めめの打ち上げ花火は、患者様や利用者様にも喜ばれました。納涼祭は地域の皆さまと交流を深める事ができる大切な行事の一つとなっています。



2019年5月19日(日) 新入職員歓迎バーベキュー

有朋会恒例企画、新入職員を囲んで楽しむバーベキュー大会が今年も開催されました。職員家族を含む120名以上が参加し、例年を超える大人数でのバーベキューはとても盛り上がりました。グループ対抗のミニゲームでは、豪華食材をかけて熱い戦いが繰り広げられました。優勝賞品は常陸牛でした！

新しく入職された職員や普段他部署で勤務している職員とも親睦を深める事ができ、有意義な時間を過ごす事ができました。



診療案内

外来担当医一覧表

	診察室	月	火	水	木	金	土
午 前	1 診	栗田	疋田	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	安部	高橋	堤	木滝	堀	第3・5週 吉川
	3 診	堤	早坂	木滝	翠川	疋田	高橋
	5 診		垣本			井出	翠川
午 後	1 診	栗田	田中	安部	栗田	鈴木	水挽
	2 診	安部	高橋	木滝	木滝		第2週 鈴木
	3 診		早坂	竹下	垣本		
	5 診	大津					

初めての外来受診・入院を希望される方へ

1. 電話で患者様の情報や現在の状況をご相談下さい。

2. 次にケースワーカー（相談員）が詳しい話を伺い、その後ご予約をお取りします。

※現在他病院を受診している、もしくは受診していた場合は紹介状が必要になります。

※当日の状況により、予約内容が変更になる場合がありますので予めご了承ください。

■ = 内科

〈午前の部〉 受付時間 8:30～11:30 / 診察時間 9:00～
 〈午後の部〉 11:31～16:00 / 13:30～

*精神科外来は完全予約制になります。
 *当日のご予約は行っておりません。前日までにご予約をお願い致します。
 予約電話対応時間 月～土（祝日を除く）9:00～17:00 TEL.029-298-0175

関連施設

障害福祉サービス事業所 自立訓練（生活訓練） ショートステイ

「くりの実」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰505 TEL.029-295-1834 FAX.029-353-2223

障害福祉サービス事業所 グループホームくりの木

「第1くりの木」「第2くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7652

「第3くりの木」 〒311-0117 茨城県那珂市豊喰1152-1 TEL.029-295-7680 FAX.029-295-7681

「くりあん」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3429-2 TEL.029-231-2280 FAX.029-231-2281

就労継続支援B型事業所

KURITAワークサポートセンター

「Work-Work」 〒310-0004 茨城県水戸市青柳町3923-5 TEL.029-231-7066 FAX.029-231-7067

認知症デイサービス

「クリクリ瓜連」 〒319-2103 茨城県那珂市中里1365-7 TEL.029-270-9550 FAX.029-270-9558

「クリクリ住吉」 〒310-0844 茨城県水戸市住吉町20-6 TEL.029-248-1001 FAX.029-248-0215

「クリクリ市毛」 〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛上坪1186-2 TEL.029-275-0262 FAX.029-275-0263

「クリクリ金上」 〒311-0022 茨城県ひたちなか市金上1031-1 TEL.029-271-1607 FAX.029-271-1608

小規模多機能型居宅介護施設・認知症グループホーム

小規模多機能ホーム「クリクリ」・認知症グループホーム「クリクリ」

〒311-0117 茨城県那珂市豊喰140-17 TEL.029-352-0016 FAX.029-298-7750

認知症グループホーム「クリクリ田彦」

〒312-0063 茨城県ひたちなか市田彦950-48 TEL.029-275-8701 FAX.029-275-8702

アクセスマップ

